

セカンドライフを楽しもう！ これからの『ゆめ』の実現を応援します！



定年退職後の生活を、余裕をもって過ごすためには、基盤となる資金計画が欠かせません。60歳代前半は厚生年金の支給開始年齢の引き上げにともない、継続雇用などで、引き続き働いている方も多いと思いますが、今回は、夫婦とも平均的な65歳以上の無職世帯をクローズアップし、セカンドライフを充実して過ごしていただくポイントをご案内します！

■平均支出

項目	支出
住居費	14,000円
食費	58,000円
光熱・水道代	19,000円
交通・通信費	23,000円
保険医療費	16,000円
交際費	33,000円
教養・娯楽費	27,000円
税金・保険料	30,000円
その他	43,000円
計	263,000円

■平均収入

項目	支出
年金など 社会保障給金	215,000円
その他	14,000円
計	229,000円

【60歳以上の方の平均余命】

男性：約23年
女性：約28年 ※簡易生命表より

不足分を
どう
埋めるかな…



今の貯蓄も
大事に
使わないとね…

毎月 34,000 円の不足！

※支出のその他は、家具・家事用品や被服・理美容院代など。
※夫婦とも65歳以上の無職世帯における平均金額。総務省家計調査（2009年）

検証 貯蓄を崩して不足分を補いながらセカンドライフを過ごしていく場合、どうなるでしょう？

【シミュレーション①】

65歳時点で、500万円の貯蓄があった場合
⇒71歳時点で貯蓄が0円に！

【シミュレーション②】

65歳時点で、1,000万円の貯蓄があった場合
⇒80歳時点で貯蓄が0円に！

結果

一定の貯蓄があったとしても、
平均余命を考えると
十分とはいえません。



家計見直しにチャレンジしましょう！

■見直し計画

項目	目標金額	実践プラン
住居費	円	
食費	-8,000円	外食の回数を減らす。 飲み物は水筒を持って行く。
光熱・水道代	-2,000円	LED照明に替える。 お風呂の残り湯を洗濯に再利用。
交通・通信費	-3,000円	近くの買い物は自転車です。
保険医療費	円	
交際費	-7,000円	公共の施設を利用する。
教養・娯楽費	-6,000円	図書館を利用する。
税金・保険料	円	
その他	-8,000円	安売り時にまとめて買う。 被服も工夫して買い物する。
見直しによる支出減	-34,000円	

税金や住居費などの固定費の削減は難しいので、それ以外の項目でプランを立てましょう！

ぜひ、せっかく貯めた貯蓄を取り崩さない家計収支を導き出してください。

まとめ

- 老後の家計収支は人それぞれ違います。家計見直しも重要ですが、せっかくのセカンドライフです。ゆとりをもって楽しみましょう。
- 貯蓄はこれまでの現役時代に苦勞を積み重ねてきた**結晶**です。たまにはちょっとしたゼイタクや、これまでできなかった旅行も楽しんでみませんか。
- 現役時代と同様に、お孫さんのお年玉やお祝い金のためのお積立もオススメです。



無理なく、
自由に設計

エース預金

毎月、自分で決めた日に、普通預金から積立口座の「エース預金」へ自動で積立できます。また、臨時に自分のタイミングでの積立も可能です。

10商品のラインナップ

〈ろうきん〉投資信託 と 個人向け国債

貯蓄に占める、余裕資金の運用は、ぜひ〈ろうきん〉にお任せください。お客さまのニーズに合わせたご提案をいたします。

※詳しくは、お近くの〈ろうきん〉まで